

別紙

第三次子どもの読書活動推進計画アクションプランの振り返り内容の詳細
(一部抜粋)

- ・どの本を借りればよいか迷っている 1 年生を対象に、本の福袋を作成したところ好評であった。5 年生の国語の単元「この本おすすめします」にからめ、5 年生が選書した本の福袋を楽しそうに選んでいた。今回は 1 年生に向けたものとしたが、他学年も興味を示していたため、対象を広げて活動していきたい。
- ・高学年において、ビブリオバトルを実施した。5 年生は、1 人ずつ前に出て発表し、6 年生は、2 時間ほど時間を使い、ワークショップの形で発表した。どちらも全員参加で発表できたという点で良い取り組みであったと感じている。
- ・としょしつだよりについて、保護者へ向け LINE での配信をスタートした。児童に向けては引き続きお便りとして配布した。
- ・美術部とコラボし、物語のイメージをイラストにして、あらすじと作者紹介と共に配布した。美術部員とのコラボは成果が大きく、紹介した本を借りにくる生徒が増えた。
- ・耐震対策として書架の上には本は置かず、できるだけ棚に収納したが、収納しきれず、災害時などの不安がある。
- ・教員のおすすめ本を聞き、蔵書にないものを購入して、教員のおすすめメッセージと共に展示したことで、読んでみようと思う生徒が多く、教員と生徒のコミュニケーションにも繋がった。
- ・文化財資料の常設展示を行う「多摩ふるさと資料館」において、令和 5 年 7 月～8 月に企画展「多摩の風景うつりかわり～貝取の今むかし～」を開催するとともに、企画展解説&収蔵庫ツアー、資料館の展示室を巡りながらクイズを解くイベントを開催した。また、令和 5 年 10 月～11 月には特別展「『食』～つくる・たべる・ほぞんする～」を開催し、来館者に展示資料の解説を行った。
- ・小中学校による古民家等見学の際には子ども用施設紹介パンフレットを配付し、学芸員が解説した。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「お団子づくりと図書館おはなしの広場」は、事業の見直しを図り、多摩ふるさと資料館で企画展等を開催した。令和5年10月～11月に「多摩ふるさと資料館」で開催した特別展『『食』～つくる・たべる・ほぞんする～』において、昔の風景や暮らしぶり、農具や民具の使い方等を紹介した書籍「今昔『くらしぶり図絵』』の一部をパネルにして掲示し、昔の道具の使い方等について解説した。
- ・発達支援室の『発達の凸凹のある子を育てる親の会』事業にて中央図書館職員が来所し、リニューアルした中央図書館案内や発達障害に関する本の紹介を行った。ブックリストをもとにテーマにあった図書を紹介してもらいその場で参加者が本を手に取りながら、情報交換や図書のタイトルを控えている姿がみられた。
発達障害の認知特性による読み書きの困難さを伴う子どもたちに、LLブックや絵本のCD版、視覚と聴覚で両方から情報を得て楽しむことができるデジタル図書を紹介できたことは、担当課だけではできない多面的な支援を行うことができた。
- ・図書館職員から、多摩市ひまわり教室の保護者が興味のあるジャンルや本をリサーチして貰えれば、本の紹介ができるとの話をいただいた。結果、親しみやすく見やすい『発達に凸凹がある子の子育て応援ブックリスト』が作成され配布することができた。ひまわり教室に通う親子へブックリストを紹介することで、子どもと一緒に楽しめる絵本や子育てに役立つ本と情報を得る機会にしてもらえた。
- ・相談待合室に、LLブックを始め、図書館の利用貸出を紹介するパンフレットを配架した。親子で相談を待つ間に本を読んで過ごすことができ、図書館を知る機会ともなっている。
- ・市内6校（連光寺小、瓜生小、豊ヶ丘小、多摩第一小、東寺方小、大妻多摩中）、愛宕児童館、多摩保育園、その他各機関事業（多摩市立中学校社会科教員研修、東京都埋蔵文化財センター、関戸公民館（多摩市日野市連携企画）、愛宕コミュニティセンター）に学芸員が出張し、多摩の自然や地域の歴史に関する解説・講演会をおこなった。また、市民学芸員が関戸公民館のイベントに参加し、科学WSを実施した。
- ・例年の丸善多摩センター店連携展示、こどもひろばOLIVEコラボ企画、大妻女子大学キャリア・ディベロップメント・プログラムに加え、令和5年度より新たに多摩市立中央図書館連携事業（学芸員の講演会、連携企画展示、自動演奏楽器ミニコンサート等）、くまざわ書店桜ヶ丘店連携展示などを実施し、地域の歴史・自然、書籍に興味を持つ企画などを提供した。

- ・市民ボランティアとともにおこなう収集・整理・調査活動に関しては、古文書解読を従来通りに継続した。また、市民学芸員による街角アート、橋、絵図、色彩、ランドスケープ、中央図書館の省エネなどの調査活動をおこない、橋・省エネについてはパルテノン多摩4階廻廊や図書館・書店などで展示を実施した。
- ・市民学芸員の調査活動をもとに、冊子『橋～たましのはしからはし～』を刊行した。また、令和5年度特別展「牧野富太郎と多摩」の展示図録も刊行した。このほか、市民学芸員企画として、子どもたちによる街の絵を公募して、トレーディングカードを制作した。カードは令和6年度に市内各所に配布予定。
- ・アイスランドウィークにあわせて図書館でアイスランドに関連した本の展示を行っていただいた。
- ・12月に実施したアイスランド講演会において、絵本の翻訳者を講師に招き、それに伴って会場内でアイスランドに関連した本の紹介を行っていただいた。
- ・4階廻廊でアイスランドの写真展を実施した。